

広島県が地元企業の海外展開の支援に力を入れていく。中国・四川省などとの経済交流を推進し、大手小売業や金融機関とも連携。人材確保の面でもヘッドハンティング会社に県が成功報酬を約束するほどの意気込みだ。地元産業の空洞化を進めてしまつリスクもゼロではないが、海外で収益機会を確保し、県内事業の維持・拡大につなげてほしいとの思いがある。

6月、広島市内のホテルで開かれた「四川広島企業座談会」には四川省側からは甘肅・四川省人民政府副省長をはじめとする約70人が参加。広島側は県職員や企業関係者約90人が集まった。座談会では企業誘致策に関することなど双方から質問が相次いだ。

四川省は常住人口が800万人を超え、経済成長

■中・印と経済交流 ■人材確保に助成



率は2011年までの3年平均で約15%。広島県は昨年、四川省と経済交流協定を結び、この巨大市場の成長力を取り込もうとしている。

広島県商工労働局海外ビジネス課の鳥井原俊治課長は有望分野として「環境」

を挙げる。「広島からの技術輸出やコンサルティング、合弁事業などが見込める」と話す。今年5月には同省の成都市に経済交流事務所を設置した。

広島県、企業の海外展開支援

県内事業の拡大効果期待

広島県はインドのタミル Nadu州とも経済交流協定を結んだ。人口は7000万人を超え、経済成長率は11年で9・39%。チェンナイを州都とする同州は自動車産業の集積を誇る。地元産業の海外への売りを広げる。広島の物産展を開く。県単独の物産展だとして支払つというものだ。人材紹介のライフサイエンスも県に登録した



マレーシアではイオングループの店舗で広島県の物産展を開いた

1社。植田将嗣社長は「イオン期待がある。広島県はイオングループも世界に商品を売り込めるようにするため、グローバル人材の需要は着実に増えている」と話す。

県は人材確保の面からも広島県では今後10月11日に四川省で物産展を開く予定。9月に四川省で開かれる中国西部国産展をめぐり、コペ登録された人材紹介会社をルコ建機に出展を依頼し活用し、県外在任の「グロ

12年版の中小企業白書によると、海外に直接投資した企業は空洞化とは逆に国内雇用が拡大傾向にあると

6月に登録した人材紹介会社8社の側にも「インジ」をぶら下げた。先着2社までだが、5件以上の採用に結びつけた場合、250万円をインセンティブとして支払つというものだ。

ただ、国際情勢は刻一刻と変化している。施策が企業用に結びつけた場合、250万円をインセンティブとして支払つというものだ。

（広島市）も県に登録した

（広島支局長 塩田宏之）

広島

広島支局 00882-22344-11155
福山支局 00844-93324-33345